



もがみまち こそだ けんしょう

# 最上町子育て憲章

子どものちがい

1

まも 守ります!

もがみ 最上の  
しぜん ぶんか 自然と文化

じもと れきし ぶんか まな 地元の歴史や文化を学び  
「ふるさと最上」を  
う つ 受け継ぎます

2

だいじ 大事に  
が します!

がっこう まな 学校の学びと  
ちいき まな 地域の学び

いろいろ けいけん たの 色々な経験を楽しみながら  
みらい む すす 未来に向かって進みます

3

ちから 力を  
あ 合わせます!

み みんなと  
いっしょ 一緒に

さべつ いじめや差別をなくし  
いのち たいせつ 命を大切にします

4

わす 忘れません!

つね かんしゃ 常に感謝の  
きも 気持ち

まわ ひと かんしゃ 周りの人に感謝し  
おも いやり やさ 思いやりと優しい気持ちで  
せつ 接します

5

つた 伝えます!

こ 「ことば」で  
じぶん おも 自分の思いを

えがお げんき 笑顔で元気にあいさつし  
ことば こうどう つた 言葉と行動で伝えます

## おとな ちか 大人の誓い

1

れきし ぶんか 歴史や文化  
きょうど あい こころ 郷土を愛する心を  
つた 伝えます

2

こども こころ 子どもの心に  
よ そ 寄り添い  
こ きぼう 子どもが希望を  
も かんきょう 持てる環境を  
とどの 整えます

3

こせい じんけん 個性と人権を  
そんちよう 尊重し  
こ いのち 子どもの命を  
まも 守ります

4

とも 共にルールと  
マナーの  
たいせつ まな 大切さを学び  
おも こころ 思いやりの心を  
はくく 育みます

5

あか 明るくあいさつを  
か 交わし  
えがお 笑顔あふれる  
ちいみしゃかい つく 地域社会を作ります

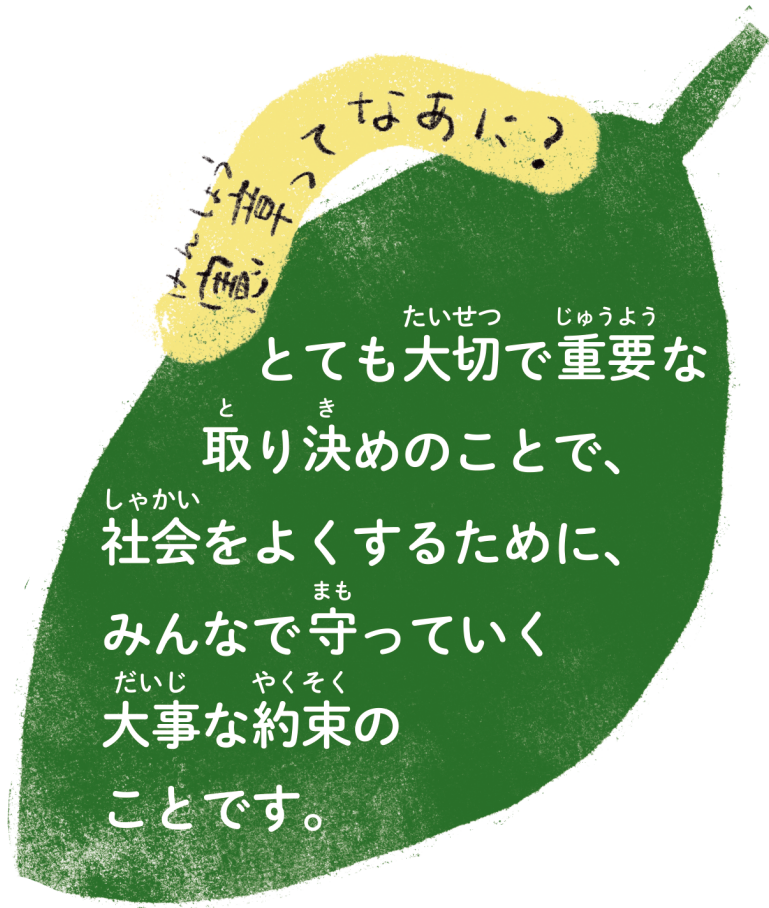


ぜん ぶん  
前文

わたし ひと ひと  
私たちは、人と人がつながり、  
ゆた しぜん めぐ もがみまち ちょうみん  
豊かな自然に恵まれた最上町の町民で  
す。

こ えがお かぞく えがお かぞく  
子どもの笑顔は家族の笑顔、家族の  
えがお ちいき えがお ちいき えがお  
笑顔は地域の笑顔、地域に笑顔があふ  
れるとき、町民みんなに幸せが広がり  
ます。

こ えがお み あか  
子どもたちの笑顔に満ちた明るく  
げんき めざ こ  
元気なまちを目指し、子どもたちが  
みらい む ゆめ きぼう も しんしん  
未来に向けて夢や希望を持ち、心身と  
もにすこやかに成長していくことがで  
きるよう、子どもと大人の共通の指針  
となる「最上町 子育て憲章」を制定し  
ます。



も



もがみまち しぜん おも う やま みどり  
最上町の自然を思い浮かべるとき、山の緑と  
きせつ うつ か かわり で 変化する木々の彩り、降雪は  
おおくても ゆきど みず なが こ おくにがわ ほくく あゆ  
多くても、雪解け水が流れ込む小国川が育む鮎や  
いわなの味とアスパラガスや山菜の美味しさなど、  
ひとことでは言い表せないほどの豊かさがあります。

また、最上の文化として地域ごとに受け継がれ  
てきた祭りや太鼓、田植え踊りや御柴灯だけでな  
く、近年の新たな取り組みとして、最上町産の  
もくざい しやう がつき つく とどうさい こうせい つな  
木材を使用した楽器作りや灯々祭など、後世に繋  
げたい新しい文化も生まれてきています。

「温故知新」の言葉のとおり、古き良き伝統と新  
しい伝統を生み出す力、さらには、環境にも配慮  
したゼロカーボンを意識した「ふるさと最上」を  
子どもたちにも引き継いでいけるよう、多世代間  
の交流を大切にしていきます。

だいし  
大事に  
が  
します!

がっこう まな  
学校の学びと  
ちいき まな  
地域の学び

いろいろ けいけん たの  
色々な経験を楽しみながら  
みらい む すす  
未来に向かって進みます

こどもの心  
に寄り添い  
子どもが希望を  
持つ環境を整えます



が

子どもたちの学びの場に ICT が導入され、これまでとは違った形での学習が始まろうとしています。教室だけでなく戸外にも持ち出せる ICT で、現地に出向いて気になったことを調べたり、思い思いの形で気づきを表現できるようになるでしょう。

大人は、子どもたちが自由に安心して、楽しく学び続け、無限大の可能性を引き出せるよう、地域の安全確保と環境整備に努めます。また、地域の文化・伝統・芸術・食文化など幅広い学びを大切にしてほしいという思いが受け継がれるよう、子どもたちに伝えていきます。

ちから  
か  
を  
あ  
合わせます!

み  
みんなと  
いっしょ  
一緒に

さべつ  
いじめや差別をなくし  
いのち たいせつ  
命を大切にします

こせい じんけん  
個性と人権を  
そんちよう  
尊重し  
こ いのち  
子どもの命を  
まも  
守ります



み

自分の命、他人の命はもちろん、生き物・植物すべての命をむやみに傷つけることは、決してしてはいけないことです。

子どもがすべての命を大切にし、勇気を持っていじめや差別をなくそうとする気持ちで生活できるように、周りの大人は子どもの命を大切に、守り育てます。



わす  
れ  
ま  
せ  
ん！



つね かんしゃ  
**常に感謝の**  
きも  
**気持ち**

まわ ひと かんしゃ おも  
周りの人に感謝し思いやりと  
やさ きち せつ  
優しい気持ちで接します

ども  
共にルールとマナーの  
たいせつ まな  
大切さを学び  
おも ところ はぐく  
思いやりの心を育みます



じぶんがかかわるまわりの人だけでなく、毎日口にする食べ物やそれを作り出す生産者への感謝の気持ちも忘れずに、いつも「ありがとう」の気持ちを持って生活します。

子どもは、良いことも悪いことも、周りの大人の姿や行動を見て学習しています。

「子は親（大人）の鏡」というように、大人の行動や言動を手本に成長していることを忘れずに、時には子どもと一緒に社会のルールとマナーについて考える時間を設けたり、大人自身が生き生きと生活する姿を見せながら、相手を思いやる心の成長を育みます。

つた  
え  
ま  
す！



**「ことば」で**  
じぶん おも  
**自分の思いを**

えがお げんき  
笑顔で元気にあいさつし  
ことば こうどう つた  
言葉と行動で伝えます

あか  
明るくあいさつを  
か  
かわし  
えがお  
笑顔あふれる  
ちいきしゃかい つく  
地域社会を作ります



「ことば」には、声に出して思いを伝える言葉もあれば、指文字を使う手話もあり、小さい子どもたちでも身振り手振りで心の声を届けています。言葉にならない「ことば」でも目を見て通じ合うこともあれば、気持ちがこもっていない言葉はいくら耳を傾けても、心に届かないこともあります。

子どもも大人も、一人ひとりがそれぞれの方法で自分の思いを伝え、気持ちを通わせ合うことが出来れば、自然に笑顔があふれ、みんなが安心して過ごせる最上町になると信じます。